



開校44年目

六中だより 2月号

〒352-0023 埼玉県新座市堀之内3-11-1

TEL 048-478-2764 FAX 048-482-0136

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/j-dairoku>

全生徒数：675名



おもちゃから宇宙へと広がる可能性
～ 美しく・温かく・常に前進 ～

校長 齊藤 直之

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）は、1月20日（日本標準時）に小型月着陸実証機（SLIM）を月面への着陸に挑戦し、成功したと発表しました。月への着陸をしたのは日本として初めてであり、世界ではアメリカ、ソ連、中国、インドに続き、5か国目に月面着陸を成功させた国となりました。

このニュースは、多くのメディアで歴史的快挙として大きく報道されました。

SLIMは、想定とは異なる姿勢で月面に着陸したことから探査機に搭載された太陽電池に太陽光があたり、心配されましたが、太陽光があたり、発電したとのこと。今後の活躍に注目し、新たな画像や新たな発見に期待したいと思います。

エンジンを一つ失っても月に着陸できたSLIMの性能は、本当にすごいですね。SLIMの目的はただの月面着陸ではなく、降りたい場所に高精度に狙って降りる「ピンポイント着陸」を実証することでした。

例えば、NASAのアポロ着陸船は、着陸精度が10km以上ですが、SLIMは100メートル以内という格段に高い精度での着陸を目指していました。そして、JAXAの記者会見により、SLIMは目標地点に対して55メートルの精度で着陸ができたとの発表がありました。この技術力を聞いて、日本の科学力の素晴らしさを再認識しました。

これにより、例えば科学的に価値のあるクレーターや縦穴、そして月面基地へも狙った場所に着陸することができ、これからの月面開発に大きく貢献できる技術となるそうです。

そして、SLIMは月への降下中に、二つの小型月面ロボットを月面へ放出しています。その内の一つである「SORA-Q」は、着陸後のSLIMの撮影に成功しています。

世界で最小、最軽量の月面探査ロボットとなったのです。これも非常に大きな快挙となります。そのロボットの開発に加わったのがタカラトミーと知って、さらに驚きました。私にとって、タカラトミーと言えば、ミニカーだったからです。小さいころ、おもちゃ屋に行くといつもお願いして買ってもらい、友達と競って集めていました。友達と集めたミニカーを自慢しあう等、身近なおもちゃでした。

自分にとって、身近な会社であるタカラトミーが、実際にこの「SORA-Q」を販売していることを知って、すぐにタカラトミーのHPを確認しました。残念なことに、「在庫なし」でした。

SLIMが着陸したSHIOLIクレーターという名前には、月探査の新時代を切り開くことを期待し、歴史のターニングポイントに挟まれる「栞」となるよう、願いが込められているとの事です。

夢のある話ですね。このニュースを見た後に見た月は、より一層きれいでした。